

第31回愛媛県春季ジュニア男子ソフトボール大会 開催要項 (兼 第40回四国小学生男子ソフトボール大会愛媛県予選)	
1 主 催	愛媛県ソフトボール協会
2 主 管	松山市ソフトボール協会・伊予ソフトボール協会
3 会 期	令和8年 3月7日(土)・8日(日)・14日(土)・15日(日) ※予備日22日(日)
4 会 場	松山中央公園運動広場・重信川河川敷グランド・松前公園多目的広場 ※後日掲載の組合せにて最終確認をしてください。
5 参加資格	(1) 県協会(日本ソフトボール協会)に令和8年度小学生チーム登録を行なう予定のチーム。 (2) フリーエントリーとする。 (3) 小学生男子チームに登録済みの女子選手は、男子の部への参加を認める。 (4) 指導者資格を持っている方がチーム内に必ずいること。 大会当日、指導者カードを携帯し、提示できるようにしておくこと。 (5) チーム編成は監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手25名以内とする。 ベンチ入りするスコアラーは公式記録員であること。
6 参加料	※ 参加料納付の際ご注意ください 大会参加料として 19,000円 を指定された銀行口座へ振込みをしてください。
7 競技規則	2026年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールによる。
8 使用球	新意匠ゴムボール公認 11インチ球(旧2号球) (ナガセケンコー製) 各試合毎に新球2個を提出のこと。
9 傷 害	傷害に関しては本人またはチームの責任とし、協会は一切責任を負わない。 チームは、必ず、スポーツ傷害保険に加入しておくこと。
10 帯同審判員	帯同審判員としてチームの試合の行われる日に審判員資格を持たれている方を1名 確保してください。終日会場にて派遣審判員として行動していただくようになります。 審判員キャップの着用をお願いします。集合時間は締切後の文書にて確認をしてください。 ※昼食(弁当)は各自ご持参ください。
11 申込方法	(1) 大会参加申込み ※チームは支部事務局等の指定する期日までに取りまとめ先へ申込みすること。 ◇ チームより支部事務局等へ提出するもの 大会参加申込書・参加料(選手の学年は、現在の学年を記入) ※支部協会事務局は、別紙申込み確認表に大会参加申込書を添えて送付すること。 ◇ 送付先 申込み確認表に記載の送付先まで提出してください。 ◇ 締切 令和8年 2月16日(月)必着のこと。
	(2) 日本協会チーム登録 ※令和8年度チーム登録は、支部協会事務局よりの案内に基づき行うこと。 ※令和8年度に新規登録予定の小学生チームもこの大会に参加することができる。 支部協会はその登録に責任を持つこと。5月末までに、他の種別とともに チーム登録関係を提出のこと。 ◇ 日本協会登録システム【シクミネット】にて登録手続きをしてください。 3月1日以降に手続きを行い、登録完了時のチームデータを所属支部事務局へ提出してください。

1 2 連絡事項	<p>(1) 3月に開催される「第19回春季全日本小学生男子大会（広島県尾道市にて開催）」に 出場するチームは、県春季ジュニア大会には参加しないこととする。 そのため 全日本小学生男子大会県予選にはシード扱いとする。</p> <p>(2) この大会の結果により、「第40回四国小学生男子大会（愛媛県○○市開催）」に 出場するチームは、全日本小学生男子大会県予選にはシード扱いとする。</p> <p>(3) 男子チームの最初の試合日 7日・8日のどちらかの日に予選トーナメントの試合を組み込む予定。 予定 予選トーナメント … 3月 7日・8日 決勝トーナメント … 3月 14日・15日 ただし参加申込チーム数・会場の都合により、予選トーナメントの実施期間が変更される こともあるため、その旨ご承知おきください。</p> <p>(4) 参加チーム数が確定した時点で、集合時間等の日程を県協会で協議する。 日程等の詳細については締切後に小学生委員会HPに掲載する。 大会会期中の雨天により順延する場合等、試合日・会場等の変更もありうるので 隨時、HP掲載内容を確認のこと。</p> <p>(5) 指導者資格を持っている方は試合当日、県協会発行の「指導者カード」を必ず携帯し 打順表提出時に提示すること。 大会参加に支障をきたすこともあるので、チーム責任者は事前によく確認しておくこと。</p> <p>(6) 選手には当日の天候に応じて調整のきく服装をさせること。 チーム責任者は 選手の体調には十分注意のうえ大会に参加すること。</p>
1 3 競技方法	<p>(1) ベンチは組合せ番号の若い方が一塁側、攻守はコインストスにて決定する。</p> <p>(2) 試合開始予定30分前、または前試合4回終了時までに集合のこと。（打順表提出も同）</p> <p>(3) 全試合70分ゲームとし、70分を過ぎて新しいイニングに入らない。</p> <p>(4) 全試合において、3回15点・4回10点・5回以降7点以上の差が生じた時には 「得点差コールドゲーム」を適用する。</p> <p>(5) ※優勝決定戦を除く試合の延長戦について ◇ 70分を過ぎて同点の場合には、1イニングのみタイブレークによる延長戦を行う。 なお同点の場合には抽選とする。 ※優勝決定戦の延長戦について ◇ 70分を過ぎて同点の場合には、勝敗を決するまでタイブレークによる延長戦を行う。</p> <p>(6) 打者・走者・次打者ともにヘルメットを必ず着用のこと。 ベースコーチもヘルメットを必ず着用のこと。 捕手は捕手用ヘルメット・スロートガード付きマスク・プロテクター・レガーズを着用のこと。 (準備投球のとき、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも含む)</p>